

鴨川（四条～御池）右岸高水敷整備案について

1 現状及び課題

▶ 四条から御池までの高水敷は、様々なイベントで使用されるなど利用者が非常に多いが、コンクリート枠や石張り構造で、表面は凸凹が生じている。

▶ 利用者からは、自転車走行や車いすの通行など支障があるとの指摘を受けている。



2 整備の方向性について

<コンセプト>

- ① できる限り人にやさしく自然と調和した整備
- ② 上・下流、左・右岸との均衡のとれた整備

<構造>

- ① 高水敷の表面が洪水で流出しないこと。
- ② 歩きやすい表面、耐久性・維持補修の容易さ

<使用材料>

- ① 平板ブロック舗装（両サイドは芝等で緑化）
- ② 土系舗装（ // ）
- ③ 張り芝

<景観>

- ① 納涼床と調和した色合いの表面の整備
- ② 緑化等による安らげる空間整備

<その他>

- ① イベントでの使用が可能な構造

